

# 令和4年度浜松市における 森林環境譲与税の実績

---

令和5年10月  
浜松市産業部林業振興課

# 令和4年度 浜松市における森林環境譲与税の活用



## ①森林の整備に関する施策【160,174千円(47.7%)】

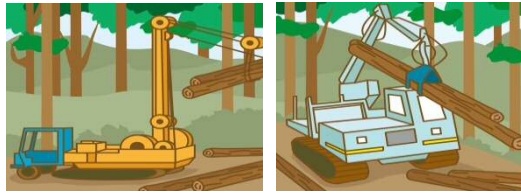
### 【主な事業】

- 管理されていない森林の所有者への意向調査や現地調査等
- 森林の主伐、再造林、獣害対策等に対する助成
- 森林作業道の開設、修繕、架線設置等に対する助成 等

## ②森林の整備を担うべき人材の育成及び確保【9,216千円(2.8%)】

### 【主な事業】

- 林業従事者の安全装備等に対する助成
- 林業、木材製造業及び建設業の担い手確保等に対する助成 等



## ⑤その他の森林の整備の促進に関する施策【13,126千円(3.9%)】

### 【主な事業】

- 林道情報デジタル化
- 林業事業体等が実施する開発・研究・調査等に対する助成

## ③森林の有する公益的機能に関する普及啓発

【8,299千円(2.5%)】

### 【主な事業】

- FSC普及啓発のためのノベルティ配布やイベント出展
- 首都圏の大都市等との連携促進 等

## ④木材の利用の促進【144,789千円(43.1%)】

### 【主な事業】

- 天竜材を使用して住宅を建築した施主に対する助成
- 天竜材を活用した非住宅の木造・木質化に対する助成
- 大河ドラマ館の新築工事 等



# 令和4年度 浜松市における森林環境譲与税の活用

No.	事業名	主な実施内容	(単位:千円)		割合(%) ※譲与税
			決算額	うち充当額	
<b>①森林の整備に関する施策</b>					<b>47.7</b>
1	森林経営管理推進事業	適切に管理されていない森林の所有者への意向確認等調査や、意向に基づいた市主導の環境伐を実施	33,297	33,297	9.9
2	林道維持補修事業	過年度の豪雨災害により被災した林道佐久間線の復旧事業を実施	16,240	9,892	2.9
3	低コスト林業推進事業	木材生産の低コスト化と生産力の向上を図るため、森林所有者がFSC認証林内で行う作業道開設や修繕、索道の設置等、林内路網の整備を支援	72,449	72,449	21.6
4	森林整備・林業振興事業 (林業・木材産業成長産業化促進対策事業、浜松型林齢平準化促進事業)	主伐に関する再造林等の作業や主伐材の搬出作業を支援	91,514	39,204	11.7
5	市単独治山事業 (山地災害予防対策事業)	森林所有者による森林管理が進まず荒廃状態にある森林について、山地災害予防等の観点から危険木の伐採や倒木の処理等の整備を支援	10,092	5,332	1.6
<b>②森林の整備を担うべき人材の育成及び確保</b>					<b>2.7</b>
1	天竜材人材育成・担い手確保事業	林業の技術力向上の取組及び担い手確保・育成活動等を支援	9,216	9,216	2.7
<b>③森林の有する公益的機能に関する普及啓発</b>					<b>2.5</b>
1	森林活用等都市間連携事業	大都市主催イベントへの浜松市ブース出展	880	878	0.3
2	森林環境教育推進事業	市内外の学校や企業等を対象とした森林環境プログラムの受入	990	990	0.3
3	FSC認証材利用拡大推進事業	木材関連展示会出展やノベルティ製作、浜松ウッドコレクション開催による天竜材の普及啓発	6,979	6,431	1.9
<b>④木材の利用の促進</b>					<b>43.1</b>
1	天竜材の家百年住居の事業	天竜材(FSC認証材)を使用して地域材住宅を建てた建築主を支援	66,754	63,440	18.9
2	天竜材ぬくもり空間創出事業	天竜材(FSC認証材)を使用して非住宅建築物木造・木質化した建築主を支援	24,867	24,867	7.4
3	家康プロジェクト推進事業 (大河ドラマ館等設置業務)【観光CP課】	天竜材を使用した大河ドラマ館等の設計・設置	271,974	56,482	16.8
<b>⑤その他の森林の整備の促進に関する施策</b>					<b>3.9</b>
1	スマート林業推進事業	マッピングGISデータ取得による林道情報のデジタル化	33,752	6,600	2.0
2	林業成長産業化推進事業	林業事業者等が実施する開発・研究・調査等を支援	6,526	6,526	1.9
	森林環境基金積立金(譲与税分)		0	0	0.0
合 計			645,530	335,604	

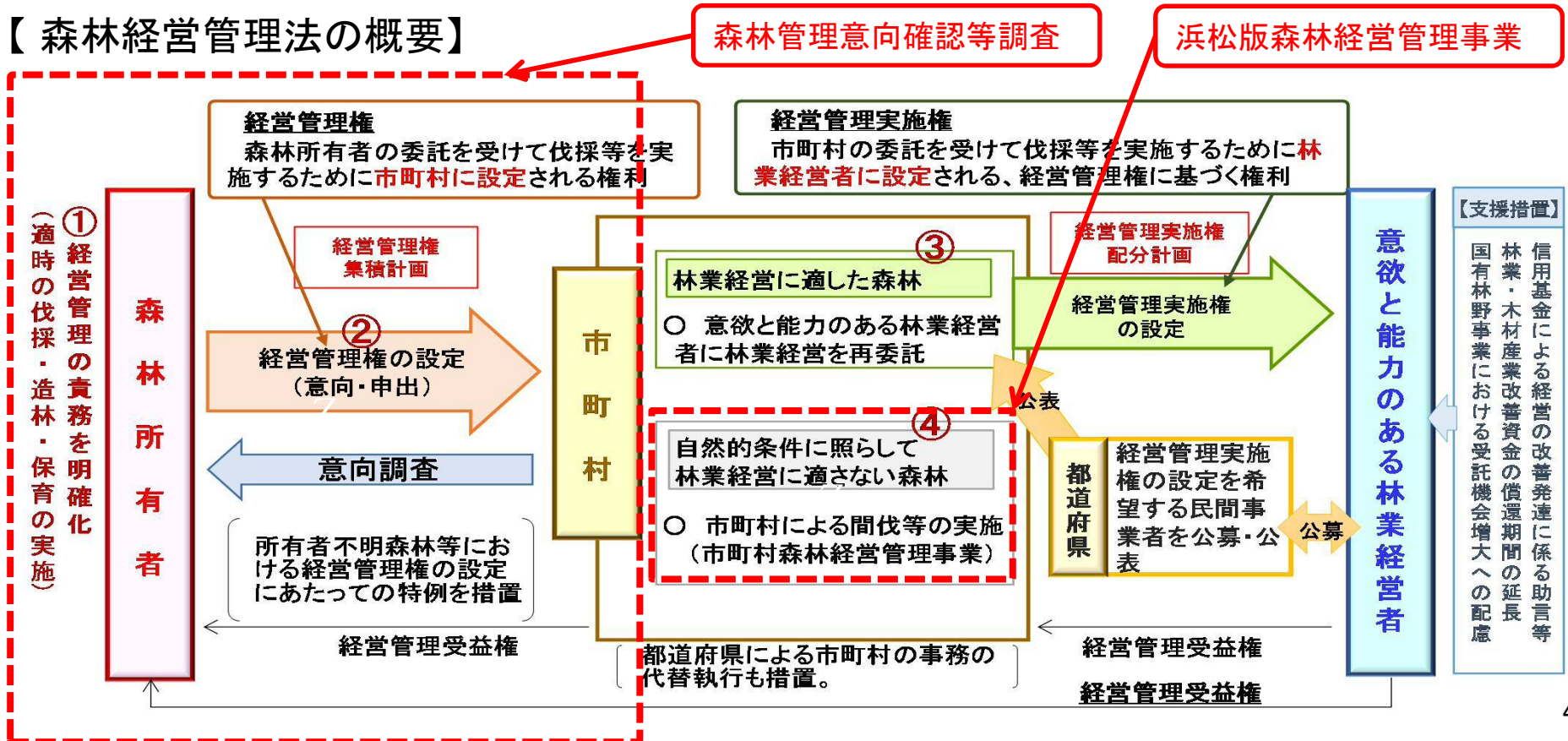
# ①-1 森林経営管理推進事業(R4充当額:33,297千円)



○ 森林経営管理法に基づき、**適切に管理されていない森林について、森林所有者の意向確認、経営管理権集積計画等の作成、同意の取得等を実施**するとともに、意向に基づき**市主導の環境伐を実施することで針広混交林化を推進**

- ・ 森林管理意向確認等調査／森林所有者への意向確認、計画作成、同意取得等を実施
- ・ 浜松版森林経営管理事業／経営管理権集積計画に基づき、混交林化を目指した環境伐を実施

## 【森林経営管理法の概要】



# ①-1 森林経営管理推進事業(R4充当額:33,297千円)



- 令和4年度の意向調査の実施結果は、森林所有者数:192人、面積:269.85ha
- これまでの調査地のうち、浜松版森林経営管理事業は5件、24.31haで、国補助及び県森の力事業を活用を含め、調査地のうち既に森林整備を実施した面積は469.21ha
- 令和5年度は、面積:約360haを調査予定

## 【これまでの森林管理意向確認等調査の実績】

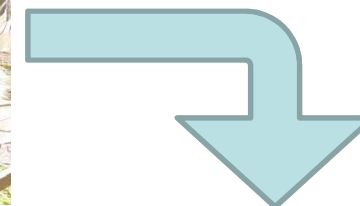
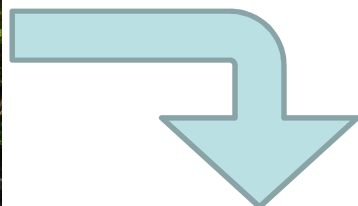
年度	実績														備考
	森林所有者数【人】 (意向調査実施者)	調査対象面積【ha】 (簡易測量等実施地)	森林整備同意人数【人】	森林整備同意面積【ha】	(うち利用間伐同意人数【人】)	(うち利用間伐同意面積【ha】)	(うち保育間伐同意人数【人】)	(うち保育間伐同意面積【ha】)	(うち皆伐同意人数【人】)	(うち皆伐同意面積【ha】)	(うち市町村森林経営管理事業実施人数【人】)	(うち市町村森林経営管理事業実施地【ha】)	森林整備同意回答待ち人数【人】	森林整備同意回答待ち面積【ha】	
R1	96	160.59	63	104.23	26	65.67	41	34.08	0	0.00	1	4.48	17	49.60	その他:7人、6.76ha
R2	160	271.64	142	250.51	120	190.61	27	47.58	0	0.00	2	11.40	10	13.98	
R3	148	293.82	73	168.34	49	107.69	24	60.65	0	0.00	0	0.00	42	76.20	
R4	192	269.85	66	89.99	51	60.27	12	26.87	3	2.85	0	0.00	96	143.43	
合計	596	995.90	344	613.07	246	424.24	104	169.18	3	2.85	3	15.88	165	283.21	

※ 利用間伐及び保育間伐の重複者あり

## ①-2 林道維持補修事業(R4充当額:9,892千円 ※過年度積立金より)



- 過年度の豪雨災害により被災した林道佐久間線の復旧事業を実施
  - ・ 路肩修繕工事(33.2m)



【 林道佐久間線の路肩修繕工事の様子 】

## ①-3 低コスト林業推進事業(R4充当額:72,449千円)



○ 木材生産の低コスト化と生産力の向上を図るため、森林所有者がFSC認証林内で行う作業道開設や修繕、索道の設置等、林内路網の整備を支援

### 【R4実績】

- 作業路開設(幅員:3.0m以下)／5件、2,715m
- 作業道開設(幅員:3.0m)／25件、11,908m
- 作業道修繕／39件、16,989m
- 索道設置・撤去／8件、8,369m

### 〔制度の概要〕

補助対象／市内の認証森林

補助率／補助対象経費合計の4分の3以内

単価等／

- 森林作業道開設:7千円/m
- 森林作業路開設:4千円/m
- 森林作業道補修:上限1,000千円
- 架線設置・撤去:延長100m以上



【作業道開設】



【索道設置】

①-4森林整備・林業振興事業 (林業・木材産業成長産業化促進対策事業、浜松型林齢平準化促進事業)  
(R4充当額: 39,204千円)



本地域の林業の成長産業化や林齢の平準化を目的に、主伐に関する再造林等の作業や主伐材の搬出作業を支援

【林業・木材産業成長産業化促進対策事業】

○ 主伐時の集材と再造林の一貫作業関連活動等を支援

- ・(R4実績) 実績なし
- ・(R3実績) 皆伐面積: 2.05ha、間伐面積: 9.59ha、材積: 2,137 m<sup>3</sup>

【浜松型林齢平準化促進事業】

○ 主伐された木材の搬出費用を支援(2,000円/m<sup>3</sup>)

- ・(R4実績) 皆伐面積: 32.19ha、材積: 16,750 m<sup>3</sup>
- ・(R3実績) 皆伐面積: 37.53ha、材積: 19,065 m<sup>3</sup>



【皆伐における木材搬出】



# ①-5 市単独治山事業(山地災害予防対策事業)(R4充当額:5,332千円)



- 森林所有者による森林管理が進まず 荒廃状態にある森林について山地災害予防等の観点から危険木の伐採や倒木の処理等の整備を支援
- 森林の有する山地災害の防止等の公益的機能の強化を図る

【 実施前 】



【 実施後 】



## 〔 制度の概要 〕※令和5年度より③を拡充

	① 面的森林整備事業 (事前申請型)	② 小規模緊急森林整備事業 (実績申請型)	③危険木伐採支援事業 (実績申請型)
事業内容	申請面積 0.6ha~1.0ha	申請面積 0.1ha~0.5ha	胸高直径20cm以上かつ樹高5m以上 <u>高度な技術又は特殊機器等が必要で専門業者でなければ伐採できない</u>
補助金額	1本620円(胸高直径10cm以上) または実行経費の安価な方 ※ 0.1haあたり上限124,000円	0.1haあたり上限124,000円 または実行経費の安価な方	危険木伐採経費の <u>1/2以内</u>
上限補助金額	1申請あたり124万円(上限1ha または2000本)	1申請あたり62万円(上限 0.5ha)	<u>1申請あたり50万円</u>
注意点	事前申請時に事業計画書等の提出が必要	実施前に現況報告書の提出及び協議が必要	
補助対象	(1) 危険木伐採 (2) 環境伐 (3) 倒木等処理 (4) 伐採木等流出防止処理		

## ②-1 天竜材人材育成・担い手確保事業(R4充当額:9,216千円)



- 持続可能な森林管理、経営に不可欠な林業従事者の育成・確保を目的に、安全装備品の購入や新規就業者の給料等を支援
- 加えて、新規就業者の技術力向上や担い手確保・育成活動を支援

### 【R4実績】

- ・ 林業従事者安全装備品等支援事業／助成林業従事者数:184人(防護ズボン、安全靴等)
- ・ 新規就業者支援事業／助成新規就業者数:24人(採用から3年未満の給料及び手当金を支援)
- ・ 新規就業者技術力向上事業／助成件数:3件①
- ・ 担い手確保・育成活動事業／助成件数:13件② (①+②の参加者(累計)／407人)

### 〔 天竜材人材育成・担い手確保事業の概要 〕

名称	補助対象者	補助対象事業	補助率及び上限額
新規就業者技術力向上事業	天竜材に関わる林業、木材製造業及び建設業の市内に主たる事務所等を有する事業者又は世帯を別にする3人以上の市内に住所を有する者で構成された団体 など	新規就業者が1名以上参加する技術力向上に関する研修会等の開催	1/2以内 (上限200千円／事業)
担い手確保・育成活動事業		担い手確保につながるインターンシップや現地見学の開催	1/2以内 (上限100千円／事業) (インターンシップ:上限50千円／人) (現地見学:上限20千円／人)



【 支援した各事業の様子 】

### ③-1 森林活用等都市間連携事業(R4充当額:878千円)



○ 森林・林業への理解を深めてもらい、天竜材の販路拡大に繋げることを目的に  
首都圏の大都市等と連携し、各種イベントでのワークショップ等を実施

- ・ 10/28,29 「川崎駅前 優しい木のひろば(川崎市主催)」  
／ブース来場者:320人、マイ箸づくり体験、丸太伐り実演等
- ・ 11/12 「なかのエコフェア2022(中野区主催)」  
／ブース来場者:330人、マイ箸づくり体験



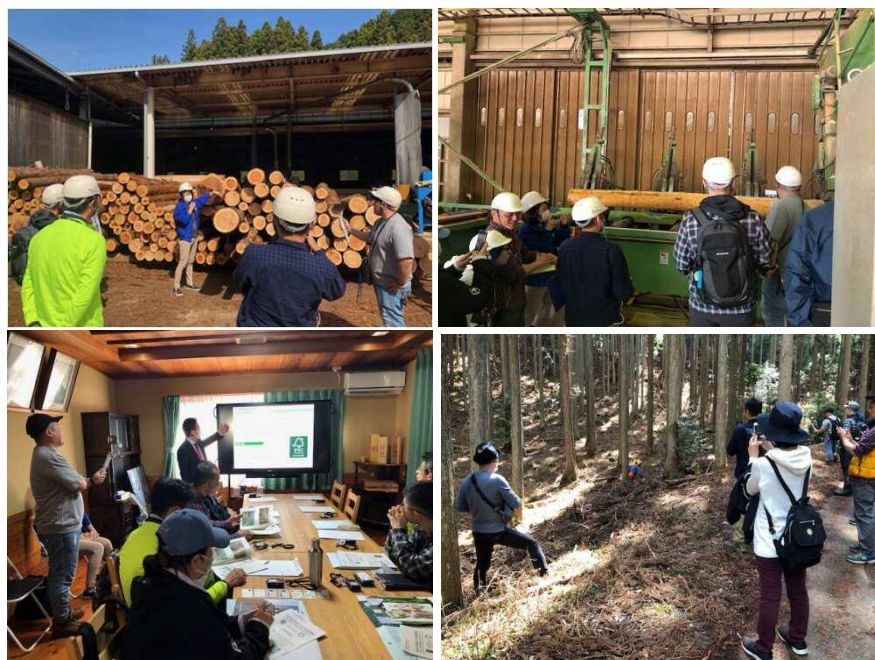
【川崎駅前 優しい木のひろば】

【なかのエコフェア2022】

### ③-2 森林環境教育推進事業(R4充当額:990千円)



- 森林や林業に対する理解を深めることを目的に、森林体験活動の受入団体「天竜こころの森ネットワーク」の運営活動等を支援
- R4年度は、SDGsや脱炭素化への意識の高まりなどの影響から問合せが増加し、13件のツアー受入、8件のプロモーションを実施



【企業向けモデルツアーの様子】



【一般市民向けモデルツアーの様子】

### ③-3 FSC認証材利用拡大推進事業(R4充当額:6,431千円)



- 天竜材(FSC認証材)の地産外商の積極的な推進により、新たな利用価値を創出し、天竜材(FSC認証材)の利用拡大に繋げる
- 令和4年度は「浜松ウッドコレクション」の開催に加え、「ジャパンホームショー」へ浜松市ブースを出展

#### 浜松ウッドコレクション2022

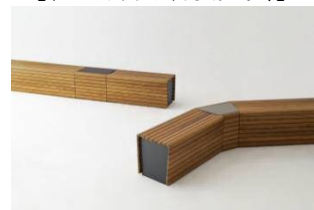
- 概要／天竜材を使用した建築物や木製品、木製家具等のデザインコンペ
- 応募数／86件(住宅部門21件、一般建築物部門21件、木製家具部門15件、木製品部門29件)



【住宅部門最優秀賞】



【一般建築物部門最優秀賞】



【木製家具部門最優秀賞】



【木製品部門最優秀賞】

#### ジャパンホームショー2022

- 概要／全国への天竜材の販路拡大やFSC認証のPRを目的に浜松市ブースを出展
- 期間／令和4年10月26日(水)～28日(金)
- 場所／東京ビッグサイト
- 展示／浜松ウッドコレクションの受賞作品等



## ④-1 天竜材の家百年住居る事業(R4充当額:63,440千円)



- **天竜材(FSC認証材)を使用した住宅の建築主を支援し、天竜材の地産地消を推進することで、地域の森林資源の循環利用を実現**
- **令和3年度から、大幅な改定(FSC認証材特化、上限拡充)を行い拡充事業として実施するとともに安定財源で長期的な実施を目指し、森林環境譲与税を活用**

### 〔市内住宅着工数と住宅助成事業の推移〕

(F)

年度	住宅着工数	うち 木造住宅	木造住宅 割合	市住宅助成 事業実績	うちFSC材 使用実績
H23	5,371	3,741	70%	230	92
H24	5,720	3,783	66%	194	73
H25	6,614	4,630	70%	250	100
H26	5,383	3,437	64%	214	94
H27	5,195	3,504	67%	199	94
H28	5,573	3,782	68%	207	110
H29	5,593	3,606	64%	218	149
H30	5,332	3,665	69%	181	115
R1	5,262	3,693	70%	146	94
R2	4,942	3,180	64%	131	79
R3	4,682	3,356	72%	160	115
R4	5,082	3,194	63%	154	110
合計	64,749	30,148	—	2,284	1,225

- **12年間でFSC認証材が1,225棟の住宅に使用**
- **12年間で約9,200m<sup>3</sup>のFSC認証材が使用(1棟:7.5m<sup>3</sup>と仮定)**



【天竜材が使用された木造住宅】

※ 「住宅着工数」と「うち木造住宅」は、住宅課調べ

## ④-2 天竜材ぬくもり空間創出事業(R4充当額:24,867千円)



○ 天竜材(FSC認証材)の利用拡大のため、非住宅建築物における木造・木質化を支援し、天竜材の地産地消を推進

- ・ 令和4年度実績:19件(新築・増改築・改修・改装:6件、木製家具の導入:13件)
- ・ 令和3年度実績:13件(新築・増改築・改修・改装:8件、木製家具の導入:5件)

### 〔 制度の概要 〕

FSC認証材を使用する非住宅建築物の木造・木質化に対する助成事業

○ 補助対象者  
施主

○ 補助金額

(1) 非住宅建築物の木造・木質化費用の1/3  
(FSC認証材PRに効果的取組は1/2)

【上限:5,000千円、200千円/m<sup>3</sup>】

(2) (R5拡充)特に天竜材の普及効果の高い非住宅建築物の木造・木質化費用の1/3

【上限:10,000千円】

(3) 木製家具・木製品の購入費の1/3

【上限:2,500千円】



【 本事業活用店舗等(R4年度) 】

### ④-3 家康プロジェクト推進事業(大河ドラマ館等設置業務) (R4充当額: 56,482千円)【観光・シティプロモーション課】



- 2023(令和5)年大河ドラマ「どうする家康」ゆかりの地となる本市は、**令和5年3月から大河ドラマ館がグランドオープン**
- 全国から多くの観光客が来館することが予想されるこの**大河ドラマ館の施設に森林環境譲与税を活用し、東京2020大会の選手村ビレッジプラザで使用された天竜材(レガシー材)を使用**
- レガシー材の使用により、オリンピックレガシーを伝えるとともに、天竜材(FSC認証材)を多くの人に紹介



【 天竜材を使用して建設された大河ドラマ館 】

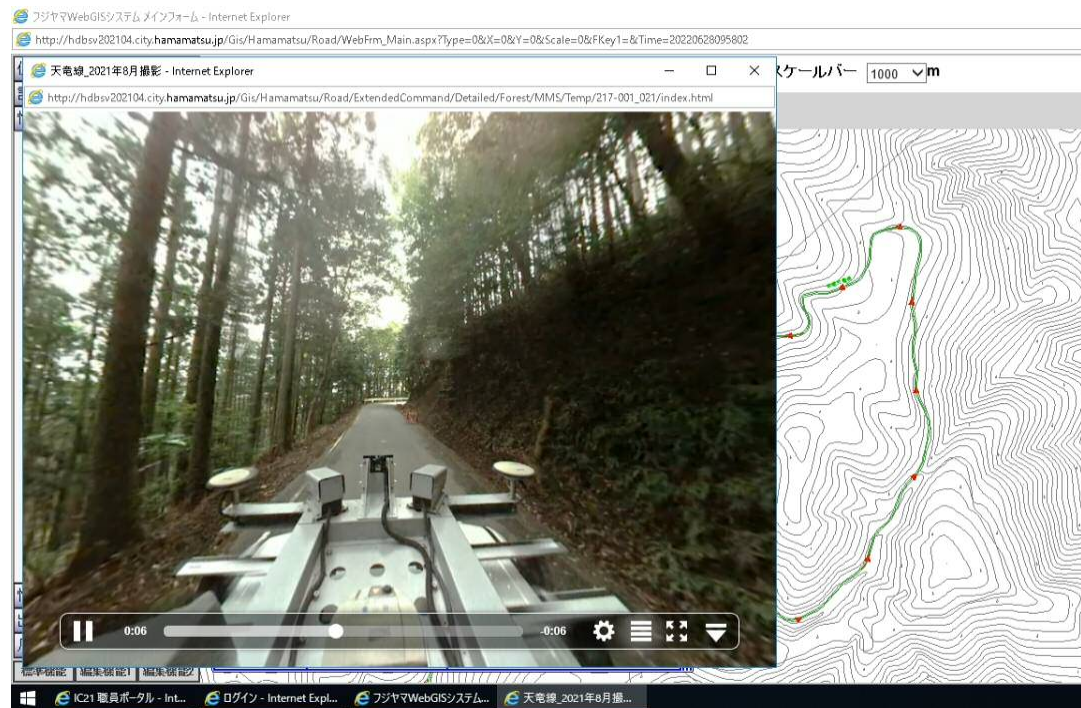


## ⑤-1 スマート林業推進事業(R4充当額:6,600千円)



### < マッピングGISデータ取得 >

- 災害の発生状況を早期に把握・対応するとともに、通行止め等の交通情報を住民に対し迅速に周知することにより、住民の安心・安全を図ることを目的に、林道情報のデジタル化を実施
- 県内で土木部局と同様の地図情報システムにより林道を管理している市町は存在せず、マッピングや映像での林道管理は県内初の取組



【MMS専用車両に360°カメラを登載し、角度を移動できる動画を全周囲画像として撮影】

## ⑤-2 林業成長産業化推進事業(R4充当額:6,526千円)



- 本市の林業・木材産業の成長産業化のため、令和3年度に終了した国の「林業成長産業化地域創出モデル事業」の後継として、天竜材の多様な分野への展開に向けた開発・生産・流通を目的とした事業を支援

### 〔事業の概要〕

事業名	天竜材地産地消・地産外商推進事業	天竜材製品開発支援事業
補助条件	天竜材の生産量及び販路の拡大に繋がる事業	天竜材を使用し開発する製品がFSC認証製品であること
補助率	補助対象経費の2分の1以内	
補助対象事業	原木・製材の生産量及び販路の拡大に関する事業 品質・デザイン・機能性の向上に関する事業等	製品開発に伴う設計・デザインや試作品の製作・試験 開発した製品及び天竜材を全国に流通させるための普及・啓発事業等
補助対象経費	需用費、役員費、交通費、原材料費、製作・試験費、謝金、技術者給、委託費、備品購入、使用料及び賃借料(領収書を徴収することができないものや飲食代は補助対象外等条件あり)	